
DEVIL SURVIVOR2-ARCHIVES-

亜兎羅須

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

DEVIL SURVIVOR 2－ARCHIVES－

【Nコード】

N6621Y

【作者名】

亜兎羅須

【あらすじ】

これは『DEVIL SURVIVOR 2－GRAND CROSS－』の登場人物や、用語の意味について記した設定資料集です。物語の核心についてかなり頻繁に触れている為、ネタバレ等を嫌う方はご注意ください。また『DEVIL SURVIVOR 2－GRAND CROSS－』自体が『DEVIL SURVIVOR 2』の二次創作である為、本設定集にも公式のそれかなりの修正や改変を加えたものになっています。これらの点について容認できる方のみ、本設定集に目を通して下さい。

『冬川威月』

● ふゆかわ いつき
冬川威月

・性別…男

・年齢…18歳

・身長…181センチ

・体重…59キロ

・誕生日…6月10日

・星座…ふたご座

・血液型…AB型

・住所…半蔵門線沿線

・種族…人間

・容姿…天然パーマ、黒髪、青い目、白い肌。髪の色と形は父親譲りで、目は母親譲り。端正な顔立ち（服装によっては性別が変わって見えてしまう程）、無表情多し。足が細長く、それに伴い、背も高い。雪のように白いウサミミパーカー付きの衣服（フードの内側にヘッドホンが内蔵されている）、服を着ていては見えないが、左肩の後ろに赤い薔薇を模した刺青がある。

・職業…高校生

・尊敬する人物…ステイブ・ジョブズ

・好きな本…『進撃の巨人』

・好きな映画…『アイスエイジ』シリーズ

・性格…口数が少なく、人との会話においても、どこかずれた回答をする事が多いが、基本的には思いやりがあり、優しい性格。ただし、敵に対しては容赦しない（戦闘の際は、言葉づかいが、父親譲りのやや乱暴なものになる）。仲間想いである一方で、自分にしか被害が及ばないような状況になると、途端に後先見ないような、危険な行動をとる事がある。また、考え事をしている際に、髪をクシヤクシヤにするという癖があり、彼の髪型が天然パーマのようなものであるのはその為。

・座右の銘…剛毅果斷^{いつきかたん}

・知識…知能指数は高いが、そこに蓄えている知識自体は、並の高校生よりもやや密度が高い程度で、基本的には一般の範疇^{はんちゆう}を出ない。しかし、物覚えは非常に良いので、努力次第では、フミにも劣らない知識を吸収できる素養を持っている。

・健康…本編時点でこそ、特に目立った身体的障害はなく健康そのものだが、11歳の頃に交通事故に遭い、背中 of 皮膚の4分の3を損傷。搬送された病院にて、同事故の被害に遭った母親の皮膚を移植する事となる。奇跡的に威月は一命を取り留めたが、残念ながら母親は助からず、死の淵から生還した息子を愛おしく抱きしめた後、

安らかに息を引きとった。以降、威月の背中にある、母親から移植した皮膚（全体的に、左肩の後ろの部分を多く占める）には、かつて母親の左腕にあった、赤い薔薇を模した刺青が浮かび上がるようになった。

・趣味…登山。彼の自室には、これまでに撮った風景写真の数々が飾られている（一部には、珍しい動物の写真などもある）。

・好物…フルーツ味のジュース（特にリンゴジュースが好きだが、例外としてブドウジュースのみは不可。理由は、どういう訳か、飲んだ瞬間に意識を失ってしまう程に耐性がない為）。

・嫌いなもの…ブドウジュース。理由は上記を参照。

・武器…特になし。

・スポーツ歴…かつては近場にある少年サッカークラブに所属しており、地元のニュースや雑誌で度々取り上げられるほど優秀な成績を収めていたが、11歳の頃に起きた交通事故と、同事故によって母親を失った際の精神的ショックから、後にクラブを退団。それ以降は、サッカーボールを見ただけで事故の事を思い出してしまうようになり、テレビなどでも、決してサッカー関連の番組には目を通さない。

・得意なスキル…■■■■■から吸収したスキル全般。

・特技…倒した■■■■■の能力の一部を吸収することが出来る。原因は、かつて威月が交通事故に遭った際、■■■■■から来た彼の母親の不運の出来事に興味をもった■■■■■が、彼女と約束し、自分の力の一部を威月の体内に宿し、彼の命を救った事による影響。

また、■■■■の感情の流れなどを僅かながらも読み取る事が出来、意識的に行えば、遠く離れた場所にいる同存在の居場所を直感的に把握できる（ただし、この能力の場合、分かるのは居場所のみで、それ以上の事はわからない。また、仮に近距離で■■■■の感情を読み取ったとしても、理解できるのはあくまで『感情』のみで、具体的に何を考えているか等は把握できない）。携帯を介さずに、直接身体から魔法を用いる事ができるのも、同じ理由からである（基本、今事件において人間が魔法を使用する際は、悪魔召喚アプリを搭載した携帯を媒介として、そこで基本的なプログラムを組み、出力する事で魔法を発動させている）。仲間内で彼と同じ事が出来るのは、彼を除いてはヤマトのみ。また、歌が得意で、その腕前はプロ並み（母親の遺伝である）。音痴であるオトメがそれを知った際、思わず彼女が嫉妬してしまう程。

・過去…11歳の頃に交通事故に遭う。あるサッカー大会の帰り道にて、自らの不注意で道路に飛び出してしまった事が原因で、そこへ助けに入った母親もろとも重症を負ってしまう。奇跡的に威月のみは一命を取り留めるが、母親は死亡。以降威月は、母親が死んだのは自分のせいだと思い込むようになり、今でもそのトラウマを引きずっている（時折、自分に恨みの言葉を吐いてくる母親の夢を見ては、うなされてしまう程）。同時に、自分の行いによって他の誰かが傷つく事に関して、極端な恐怖心を覚えるようになり、それが、やがては、今作の事件の際に彼が度々見せる、ある種無謀とも言える数々の行動の原因となっている。

・家族…父は生前に蒸発したとしか聞いておらず、真偽のほどは確かめていない。母親については上記を参照。姉が1人いるが、事件の際に消息不明となる。

・恋人…なし。

・休日に行きたい旅行先…山（叶うならば、海外の有名な山々にも
赴きたいと思っている）。

『志島大地』

● しじま だいち
志島大地

・性別…男

・年齢…18歳

・身長…171センチ

・体重…57キロ

・誕生日…8月15日

・星座…しし座

・血液型…B型

・住所…半蔵門線沿線

・種族…人間

・容姿…やや幼さの残る顔立ち。耳元を隠す程度に伸びた茶髪を、額の前で分けている。目の色も同じく茶色。公私に関わらず、可能な限り、常に黄色のマフラーを巻くようにしている。靴の色も黄色と、同色は彼のお気に入りである。

・職業…高校生

・尊敬する人物…テッド・ウィリアムズ

・好きな本…ONE PIECE

・好きな映画…『パイレーツ・オブ・カリビアン』シリーズ

・性格…明るく人懐っこい。細かい事は気にしない性格で、どこか似たような価値観を持つジョーとは、度々意気投合する間柄。年頃の男子らしく異性にも興味が有り、彼の学校で大和撫子と謳われるイオや、マコトやフミなどの女性にも興味を示し、事件4日目にジプスで行われた健康診断の際は、これ以上ないほどに煩惱を高ぶらせていた。また、やや消極的で他人任せな面があり、それが原因で、時には他の仲間が傷ついてしまう事も。

・座右の銘…きょしんたんかい虚心坦懐

・知識…特にこれと言って秀でた知識はない。漫画やアニメ、ゲームなどのエンターテイメントの流行に少々詳しい程度。

・健康…特に目立った身体の問題はない。

・趣味…ゲーム、映画鑑賞。月に1度は、必ず威月と共に都内の映画館に行く。

・好物…炭酸飲料全般

・嫌いなもの…コーヒー

・武器…特になし。

・スポーツ歴…過去にリトルリーグに所属していたが、シニアには進んでいない。

・得意なスキル…火炎属性全般

・特技…ゲーム（特にFPSなどのジャンル）の腕前には自信があると自ら語っている。

・過去…中学生の頃、両親がいないせいで、威月が同級生達から執拗ないじめを受けていた事に気づきながらも、巻き込まれたくないという理由から、一時期、威月から距離を置くようになる。その時は威月と自分との友情の破綻を覚悟したが、後に、都内の路地裏で何人かの不良に絡まれている所を威月に助けられてからは、それまでの自分の行いを恥じ、彼に謝罪。以降は、これから先、どんな事があるうとも、自分だけは常に冬川威月の味方でいようと心に誓うようになる。

・家族…父、母。

・恋人…なし。

・休日に行きたい旅行先…海、もしくは山（出来れば車で行ける所）。

『新田維緒』

● にったいお
新田維緒

・性別…女

・年齢…18歳

・身長…159センチ

・体重…詳細不明

・誕生日…5月3日

・星座…おうし座

・血液型…A型

・住所…有明（小学生の頃に移住）

・種族…人間

・容姿…ボブカットの茶髪、パツチリとした目。非常にスタイルが良く、ダイチ曰く『プワ〜フェクト』との事。

・職業…高校生

・尊敬する人物…マザー・テレサ

・好きな本…『ハリー・ポッター』シリーズ

・好きな映画…『卒業』

・性格…他人を思いやり、気取ったところもない、おとなしい性格。
その為、ダイチを含む同じ高校に通っている男子生徒からは『絶滅
危惧種の大和撫子』と呼ばれているが、それは同時に、周囲に意見を
合わせすぎる、どっち付かずな性格である事も示唆している。

・座右の銘…無私無偏
むしむへん

・知識…学校の授業に対する理解は深く、普段からも予習、復習は
怠らないが、その反面、悪魔や星座などに関する諸説には疎い。

・健康…特に問題はないが、ジプスの健康診断において、極端な霊
媒体質である事が明らかになる。この事が原因で、後に、過酷な運
命を背負う事となる。

・趣味…読書

・好物…アイス（特にカップアイスが好き）

・嫌いなもの…猫舌の為、熱い物全般は苦手。

・武器…特にない……が、『■■■■』を体内に宿してからは、
雷の剣を虚空から創りだして操る事が出来るようになる。

・スポーツ歴…なし。

・得意なスキル…電撃属性全般。

・特技…事件の過程で『■■■■』という悪魔を体内に宿す事となり、以降、同悪魔の力がある程度操れるようになる。

・過去…幼い頃、たまたま両親が言い争いをしているのを聞いてしまい、その際、何とか仲裁しようとした結果、両親から一体イオはどちらの味方なのかと強く問い詰められ、その出来事を機に、滅多な事では自分から意見は言わず、他人の調子に合わせる事が多くなる。先の件に関しては、ほんの数日もしない内に両親は和解し、思わずきつく当たってしまったイオにも誠心誠意謝罪したが、まだ自我が定まりきっていなかった頃の出来事であっただけに、後の彼女の人間性に大きな影響を与える程の心の傷となっていた。

・家族…父、母共に、ポラリスの初撃によって死去してしまう。

・恋人…なし。

・休日に行きたい旅行先…特になし。

『秋江讓』

● あきえ ゆずる
秋江讓

・性別…男

・年齢…25歳

・身長…178センチ

・体重…63キロ

・誕生日…2月14日

・星座…みずがめ座

・血液型…AB型

・住所…出身は名古屋だが、今は東京に住んでいる。

・種族…人間

・容姿…白黒の縞模様の帽子を被っている為に分かりにくいだが、若干茶色のかかった短髪である。サングラスのようにややレンズの色の黒いメガネをかけている。帽子と同じく、白と黒の縞模様のスーツを着ており、一応仕事着ではあるが、基本ファッションには余り関心がない為、プライベートでも同じ格好でいる事が多い。

・職業…貿易会社の営業社員

・尊敬する人物…特になし。

・好きな本…ヤンピヨン

・好きな映画…『シュレック』シリーズ

・性格…俗に言う『ちゃらんぽらん』な性格。いい加減な言動が多く、時間にルーズで、人との待ち合わせに遅れる事がままあるが、事件においてヤマトなどから召集が掛かった際にはちゃんと遅れる事なく来るなど、基本、重要な局面での失敗は少ない。また、常にどこか気の抜けた彼の性格は、時には、どれだけ危機的な状況においても物事を客観的に捉え、悪魔などの人外存在を目の当たりにしても決して気圧されないなどの長所も含んでいる。しかし、前述した性格は、当然ながら緊張感の欠如、道化を思わせる態度故に、理解を超える大事などには積極的に関われる気になれないなどの短所も含んでおり、事実、事件において威月のアドバイスを受けるまでは、仕事を理由にして、病院で過ごしている彼女に中々会いに行こうとしなかった。

・座右の銘…悠々自適^{ゆうゆうじてき}

・知識…一般常識は全般的に押さえているが、わざわざ自分から他人に対して披露する事は殆どない。

・健康…特に障害はない。

・趣味…漫画喫茶

・好物…辛い物全般

・嫌いなもの…オクラ

・武器…特になし

・スポーツ歴…中、高校時代にはバスケット部に所属していた。

・得意なスキル…衝撃属性全般。

・特技…実は酒豪で、並大抵の量では酔わず、これまでの人生においても、彼が飲み過ぎで潰れた事は一度もない。

・過去…幼い頃に両親から虐待されていた過去を持ち、その際に受けた傷の中には、未だに痕として体に残っているものもある。しかし、彼はそんな状況にあっても人道を曲げるような事はせず、否、そんな状況にあったからこそ、人の優しさが人一倍理解できる、心優しい性格になった（この一点においては、ジュンゴとどこか似通った事がある）。また、現在彼が付き合っている彼女は、幼き日の彼を知る数少ない人間の1人で、当時は小学校の同級生だった。

・家族…なし

・恋人…現在入院中。ジョー曰く『夜なべして手袋編んでくれるような子』との事。

・休日に行きたい旅行先…ハワイ。

『迫真琴』

● さこ まこと
迫真琴

・ 性別…女

・ 年齢…26歳

・ 身長…172センチ

・ 体重…53キロ

・ 誕生日…11月2日

・ 星座…さそり座

・ 血液型…A型

・ 住所…ジプス東京官舎

・ 種族…人間

・ 容姿…青い目に、青い髪。鋭い目つきが特徴の顔立ち。服装は、ほぼ休みのない多忙な毎日を送っている為に、常に仕事着でいる事が多く、実際、私服は殆ど所持していない。ただし、学生時代に着用していたシンクロ用の水着は、未だ当時の思い出を捨てきれないのか、今でも、彼女の自室の箆笥の奥に眠っている。

・職業…ジプス東京支局局員

・尊敬する人物…チェ・ゲバラ

・好きな本…『千里眼』シリーズ

・好きな映画…特になし（そもそも多忙である為、普段から映画館に行く機会自体が殆どない）。

・性格…恩のあるジプスに対して忠誠を誓う生真面目な性格で、仕事に対する彼女の真摯な姿勢は、ヤマトも一目置いている。しかし、その忠誠心故に自らの意見を唱える事は殆どなく、基本、ヤマトを含む上官の命令に対しては、例えばそれが自らの意見にそぐわないものであろうとも、絶対服従の姿勢を崩さない。それが原因で、本編では、本心と理性との狭間で苦しむ事となる。

・座右の銘…忠魂義胆
ちゅうこんぎだん

・知識…仕事柄、ジプスの局員は皆例外なく悪魔や神話に関する知識は深い。マコトにしてもその例外ではなく、作中においても、カーマやシヴァに関する伝承について、淀みなく説明していた。

・健康…特に異常はない。

・趣味…ツーリング

・好物…スポーツ飲料水

・嫌いなもの…プロテイン（学生時代、体作りの為にと一度試した事があったが、その時感じた余りの味の酷さは彼女にとってトラウ

マになっており、今ではもう二度と飲む気にはなれないらしい。

・武器…特になし。

・スポーツ歴…前述したように、学生時代にはシンクロナイズドスイミングの選手として活躍していた。

・得意なスキル…氷結属性全般。

・特技…学生時代はシンクロナイズドスイミングの日本代表候補に選ばれる程の実力者であったが、交通事故に遭ったのをきっかけに選手生命を失い、今では当時のように泳ぐ事は出来ない（厳密には単純に『泳ぐ』こと自体は決して不可能ではないが、シンクロのような複雑な動きをする事は出来ない、という事である）。

・過去…ここまで何度か触れてきたように、かつてはシンクロナイズドスイミングの選手として、日本代表候補に挙がる程の逸材だった。しかし、不運の事故により引退を余儀なくされ、失意の底に沈む事となる。そんな当時の彼女に対して声を掛けてきたのがジプスであり、最初はただ心のわだかまりをぶつけるような意識で仕事に取り組んでいたマコトだったが、やがては同職に対してやりがいを感じるようになり、それから、自分に再び生きる力を与えてくれたジプスに恩を返す事を、現時点における人生の目標としている。

・家族…父、母、弟（いずれも、ジプスに入局した時から疎遠になっている）。

・恋人…なし

・休日に行きたい旅行先…鎌倉、日光

『峰津院大和』

●ほうついでん やまと
峰津院大和

・性別…男

・年齢…17歳

・身長…175センチ

・体重…58キロ

・誕生日…6月10日

・星座…ふたご座

・血液型…AB型

・住所…主に東京だが、その時携わっている仕事の内容によっては、期間的に転々とする事が多い。

・種族…人間

・容姿…一族特有の極端に色素の薄い髪と目を受け継いでおり、威月と同じく、服装いかによっては性別が違って見える程の美青年である。黒で統一されたコートに網のブーツを履いており、潔癖症なのか、その手には常に白い手袋を嵌めている。

・職業…気象庁・指定地磁気調査部大阪本局局长ジプス

・尊敬する人物…なし（過去の偉人に限らず、彼が他の誰かに対して尊敬の念を抱く事は殆どない）。

・好きな本…特になし

・好きな映画…特になし

・性格…徹底した実力主義の持ち主で、特別な実力や才能を持つ人間は重宝する一方で、特に役に立たない人間は、この世に必要な愚図としか認識しないという、ある種冷徹な思想を持っている。しかし、基本的には特別な教育を受けていない民間人でありながら、正規のジプス局員以上の成果をあげる威月に出会い、彼の実力を認めてからは、俗世の中にも特別な力を持った者がいる事を知り、同時に、今まで一切の関心を示さなかった一般社会にも、ある程度の興味を示すようになる。

・座右の銘…実践躬行じっせんきゆうこう

・知識…幼い頃からの専属の講師達による英才教育と、生まれつきの聡明な頭脳によってこれまで築き上げてきた彼の知識は並ではなく、同年代の若者たちのそれを遥かに凌ぐ。ただし、義務的な教育機関には所属しておらず、自らの意思で外出する事も殆どなかった為、時には誰もが知っているような一般常識に対して、非常に疎い一面を見せる事もある。

・健康…特に異常はない。

・趣味…戦史研究

・好物…寿司

・嫌いなもの…特になし

・武器…一般には知られていない東京都庁の地下に、峰津院一族の象徴とも言える『龍脈』の力を解放する超巨大戦術術式が記された一室を所持している。その威力は、過去の長い日本の歴史の中でも随一で、本編の時点での術式の管理権と、最終使用権の全ては、峰津院家当主であるヤマトが握っている（管理権についてはともかく、最終使用権に関しては、普段は内閣総理大臣にある）。

・スポーツ歴…剣道、柔道、弓道、合気道、空手道などの、日本古来から伝わる武道については、一通り教育を受けている。

・得意スキル…万能属性全般。

・特殊能力…『龍脈』。前述のように兵器として用いるだけではなく、ある条件下においては、その力の一部分をその身に宿し、超人的な身体能力を得る事が出来るなど、その力の使用法は多岐に渡る。長く続く、超自然的な現象の対処に特化した峰津院一族の現当主であるだけに、先天的な霊的素質にも非常に優れており、威月と同じように、悪魔召喚アプリを搭載した携帯を通さずとも、直接身体から魔法を発動する事が出来る。

・過去…物心ついた頃から峰津院の当主にふさわしい人間になる為にと、徹底した英才教育を受け、また帝王学や政治について学んでいく内に、一部の墮落した権力者による国政の腐敗を何度も目の当たりにし、時間の経過と共に、この世は、家柄や人脈に関係なく、真に優秀な者のみによって構成されるべきである、という思いが、

彼の中で強くなっていく。しかしその一方で、自分に対して一切遠慮せず、むしろ同じ立場で意見を言ってくれる『友』の存在を無意識の内に欲しており、威月に出会うまでは、そうした思いまでもが、前述した野望を叶える為の原動力となっていた。

・ 家族…父、母（他にも一卵双生児の妹がいるが、ヤマト自身もその事は把握していない）

・ 恋人…なし。

・ 休日に行きたい旅行先…休日自体が殆どない生活を送っている為、特にそういった願望はない。

『九条緋那子』

●くじょう ひなこ 九条緋那子

・性別…女

・年齢…19歳

・身長…170センチ

・体重…48キロ

・誕生日…3月19日

・星座…うお座

・血液型…B型

・住所…実家は京都だが、今は大阪で一人暮らししている。

・種族…人間

・容姿…腰まで伸ばした橙色の長髪を、花をあしらった髪留めでまとめており、青い縁のメガネをかけている。肌をかなり大胆に露出させた扇情的な服装をしており、威月からは『一体何のために服を着ているのか』と面と向かって指摘されてしまう程。ちなみに、メガネは伊達である。

・職業…ダンサー。アルバイトでインストラクターもしている。

・尊敬する人物…坂東三津五郎

・好きな本…『星の王子さま』

・好きな映画…『フラッシュダンス』

・性格…京都出身者を体現するかのような姉御肌な性格。押しが強く、はつきりとした性格で、例え悪魔が相手でも全く物怖じしない。正義感も非常に強く、悪魔の出現によって苦しむ大阪の人々を助ける為に、悪魔を用いて人助けを行い、その代表格とも言えるジプスと関係を持つため、偶然出会った威月たちと行動を共にするようになる。また、束縛される事を嫌い、幼い頃から日舞のレッスンを強いてきた両親には強く反発しており、高校卒業と同時に家を飛び出し、余りにも露出の激しい服装に対して威月が着替えるよう促した際も、強く反発している。

・座右の銘…自由奔放
じゆうほんぽう

・知識…生い立ちの関係から、踊り全般に関して詳しく、特に、日舞に関する理解は非常に深い。

・健康…基本的に異常はないが、その露出の激しい服装が原因で寒さに当てられ、体調を崩す事がままある。しかし、本人曰く『普通のメガネ女子はイヤ』との事で、改善するつもりはないらしい。

・趣味…暇さえあれば、日舞以外のダンスを積極的に覚えようとしている。

・好物…こんなにやくぜりー

・嫌いなもの…アイス（腹部が冷えやすい）

・武器…武器として使う事はないが、常に扇子を持ち歩いている。

・スポーツ歴…幼少期よりダンスのレッスンに明け暮れていた為、学校でも部活には所属していない。

・得意なスキル…『会心の予言』や『護りの盾』などの補助スキル全般。

・特技…ダンス。

・過去…由緒ある日本舞踏『九条流』の家元の1人として、幼い頃より厳しい英才教育を受けてきたが、成長するにつれて親に反発するようになり、ついには、高校卒業と同時に家を飛び出すようになる。そのような過去を持つ為か、自分の人生は自分で決めるべきという意識は、他の人間よりも人一倍強い。

・家族…父、母

・恋人…なし

・休日に行きたい旅行先…カルナバル

『和久井啓太』

● わくい けいた
和久井啓太

・性別…男

・年齢…16歳

・身長…160センチ

・体重…47キロ（ただし、ボクシングの試合の度に減量を行う為、変動が激しい。先のデータは、事件の最中において行われた健康診断の際のデータである）

・誕生日…12月8日

・星座…いて座

・血液型…O型

・住所…大阪

・種族…人間

・容姿…銀色の髪をオールバックにしており、その鋭い眼光を主とした一匹狼的な印象から、尖ったナイフのような雰囲気常を纏っている。基本的にズボンには短パンで（ボクシング漬けの生活をしている内に、すっかり定着してしまった）、余程の寒さでもない限り

は、そのスタイルを崩さない。

・職業…高校生

・尊敬する人物…ロッキー・マルシアノ

・好きな本…特にないが、年に何冊ものボクシング関連の書物を買
いあさっている為に、気づいた時には自室の本棚を占領されている
事が多い。

・好きな映画…『ランボー』シリーズ

・性格…過去のとある出来事が原因で、異常とも言えるほど力を欲
しており、非常に粗暴で好戦的な性格をしている。民間の高校生と
いう立場にありながらジプスの一員として事件の収束に当たってい
るが、それにしても、純粋に被害者たちの事を心配した訳ではなく
『より充実した実戦経験を積む為』という理由からである。しかし、
いざという時は悪魔に殺されそうになっている子供を身を張って助
けるなど、その本質は決して悪ではない。

・座右の銘…独立独歩^{どくりつどっぽ}

・知識…義務教育に対する意欲は全くと言っていい程なく、フミ等
が専門用語を交えた難しい話を始めると、決まって苦虫を噛み潰し
たような表情を取る。

・健康…特に異常はなく、これまでも、病気を理由に学校をさぼっ
た事はない（単純に『面倒だから』という理由でなら何度もあるが）
。

・趣味…ロードワーク（娯楽を目的としてはいない為、厳密には趣味とは言えない）

・好物…梅干し

・嫌いなもの…そば、うどん等の麺類

・武器…特になし

・スポーツ歴…幼い頃よりボクシングに打ち込んできており、事件前には、インターハイに出場する程の実力を持っている。

・得意なスキル…物理属性全般。

・特技…ゲームセンターでのパンチゲームでは訪れる店全てにおいて、毎回新記録を打ち立てている。しかし、本人曰く『あの手のゲームはわざと数値を大げさに出すよう設定されているから、当てにはならない』との事。

・過去…幼い頃、親友に騙されて借金を負わされた父親が失踪した事から、この世の本質が弱肉強食である事を知る。彼のその悲しいまでの力を欲する姿勢と孤高な態度は、肉親である親に捨てられたこの事件が原因（実際には、父親が失踪したのは自分一人だけが借金を背負って姿を消し、愛する家族を守る為である）。

・家族…なし

・恋人…なし

・休日に行きたい旅行先…特になし（本人曰く『修学旅行でうんざ

り
『らし
い』

『伴亜衣梨』

● ばん あいり
伴亜衣梨

・性別…女

・年齢…15歳

・身長…153センチ

・体重…詳細不明

・誕生日…1月18日

・星座…やぎ座

・血液型…B型

・住所…名古屋

・種族…人間

・容姿…赤い長髪に、やや丸っこい、幼い顔立ち。公私問わず、殆どの場合において白いマフラーを巻き、同じく白いニット帽を被っている。また、マフラーには音符をあしらった模様が全体に施されている。

・職業…高校生

・尊敬する人物…フィリップ・ロベール・ルイ・パジェス

・好きな本…『のだめカンタービレ』

・好きな映画…『チャーリーとチョコレート工場』

・性格…非常に感情的で、思った事がすぐ口に出る性格（ついでも手も出る事が多い）。が、寂しがり屋な一面も持ち、1人になった際はオシリス41を眺めたり、行方知れずとなった父親の私物である彼の手帳を見つめたりしている。

・座右の銘…安分守己
あんぶんしゆき

・知識…過去に必死に練習した影響からか、音楽（特にピアノ関係）に対する理解が深い。

・健康…特に問題はないが、過去にピアノの練習をし過ぎて、何度か腱鞘炎になった事がある。

・趣味…音楽鑑賞。ただしクラシックに関しては、ピアニストの夢を諦めてからは一切聴かなくなった。

・好物…りんご飴

・嫌いなもの…せんべい

・武器…特になし

・スポーツ歴…特になし

・得意なスキル…火炎属性全般

・特技…ピアノ（得意ではあるが、本編の時点では、仮に頼まれたとしても人前で披露する事はない）

・過去…幼少期より近場のピアノの塾に通い、その腕前はオシリス41で開かれたコンクールにて優勝する程で、本人もいつかはピアニストになる事を夢見ていたが、家庭の事情により断念。その時を境に、ややひねくれた性格になってしまう。

・家族…母、兄（父に関して、本人は亡くなったと認識しているが、実際には、ジプスから逃れる為に姿を晦ませただけである。しかし、事件の最中、ある出来事において本当に息を引き取ってしまう）。

・恋人…なし

・休日に行きたい旅行先…ウィーン、ダブリンなど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6621y/>

DEVIL SURVIVOR2-ARCHIVES-

2011年11月21日16時45分発行